



(第415号 平成5年1月号 徹校長と浪越会長の父子)

～ 巻 頭 言 ～

原 点 回 帰!

理事長 上野 末次

今年は春先より新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々な社会活動が自粛され、日本指圧協会でも総会が延期されました。1日でも早いワクチンの開発が望まれております。感染者の回復と亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

又、ここ近年の豪雨災害も日本全国を揺るがし、がけ崩れ、河川の氾濫等、私達が今迄に経験した事が無い規模の、自然災害が増えています。

一方では莫大な財政的支援等が行われて、経済的施策があらゆる業種の復興に向けて展開されていますが、全てには行き届かず皆様も極めて厳しい状況に追い込まれているかと思えます。

会員の皆様の中には、もうこれ以上は施術を生業としては生きて行けない、廃業も止むを得ず、とお考えになる方もいらっしゃるかと思えます。

大きな決断をされる前にもう一度、私たちの原点に戻りませんか。

『診断即治療』

理事長

2020年は改めて日本指圧協会理事長とし

上野 末次

て、又、指圧を生業とする一人の指圧師

として、さらに恩師波越徳治郎先生の弟子としてもう一度、原点の『診断即治療』に立ち返ってみる事としました。

『診断即治療』のお話の前に、皆様はご自身の事を思い出せますか？どの様な経緯で指圧の道に入ったか。改めてご自身が決断した《あの時》を思い出して下さい。

恐縮ではございますが、先ずは私がこの道に入った経緯をご披露致します。

私は小学校時代から母親の肩たたき、白髪抜き、お灸などを母親から習っていてそれがとても楽しい時間でした。その後成人して、小松製作所本社勤務をする中で、たまたま、徳治郎先生の『生い立ち教本』を読んで、同じような境遇に感激し、迷わず決断しました。昭和55年に日本指圧専門学校に入学する事に致しました。

さて、『診断即治療』について述べて行きたいと思います。先ず『診断・治療』の順番ですが基本的に視診→問診→触診→治療と進みます。私の経験で申しますとこの問診こそ、治療の原点であると信じています。

それでは、『診断から治療』までを『良い例』と『悪い例』で比較してみます。

【良い例】

高血圧の患者様に対して、西洋医学では家系をたどりながら、親は、兄弟、姉妹は父方の兄弟、母方はと辿りながら遺伝的なものも含めて判断を下しています。

東洋医学でも同じことで視診に続き、問診しながら今の症状、一番つらいところを聞き出し脈拍を意識しながら且つ、触診しながら治療をする時、患者様も安心して任せて下さり、施術が進むたびに精神的にも、肉体的にも楽になっていくのが治療する側の手指に伝わって参ります。

【悪い例】

患者様ご自身が「腰が痛くて、大腿迄痺れる等の症状」と訴えるので直ぐに治療に入る。いきなり指圧にいくやり方です。

【実際の治療】

先ず患者様の痛み、痺れ、重いを取るのが優先されます。

痛い、重い、痺れは神経の興奮であり、その興奮をいかに早く取るかが「カギ」であり、これには掌圧程効くものはありません。神経の興奮を取る事で痛みは半減致します。腰椎はもとより、仙骨部と臀部全体を両手で掌圧しながら、熱（熱い冷たいを全体が一定の温度になるまで行う）を感じる。

仙骨の歪みは、むしろその脇の筋肉を解す事で、自然に仙骨は元の位置に戻ります。ここで、ほぼ患者様の痛みの訴えは半減します。私はここまでの工程を修復作業と考えています。ここから更に細かく問診を続け、脊椎を中心に調整しながら全身を指圧して治療していきます。但し、患者様の痛みの原因は様々で、それこそが治療の原点になります。繰り返しになりますが、この原因に行き着く最善の方法が問診になります。

次号に続く

★ 令和2年度 指圧協会行事 ★

定 時 社 員 総 会

前年度（令和1年度）に予定しておりました、5月24日（日）日本赤十字社東京都支部での開催を延期として、その後社会状況等を鑑み10月26日（月）に書面表決の形式により開催する事と致しました。
総務部長 小倉義夫

書面表決の議事内容

議案第1号	令和1年度	事業報告について
議案第2号	令和1年度	収支決算報告について
議案第3号	令和2年度	事業計画（案）について
議案第4号	令和2年度	収支予算（案）について
議案第5号		定款の一部改正について

書面表決外の報告事項

報告事項1号	役員改選について
報告事項2号	会員名簿上梓について

役 員 選 挙 の 告 示

本年は役員改選年に当たります。
立候補の意思のある方は以下の要綱に従って立候補届を提出して下さい。

- 1.選出役員数 理事・・・3名以上24名以内 監事・・・1名以上3名以内
- 2.立候補の届出 立候補する事は日本指圧協会事務局に届出用紙を請求し、必要事項（代議員2名の推薦等）を漏れなく記載の上、事務所内選挙管理委員会宛に提出して下さい。
- 3.立候補届出の期間 10月26日（月）から11月9日（月）迄。11月9日消印の立候補届出は有効です。
- 4.届出先
協会事務所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷4-5-10
ライオンズマンション本郷303号室
電話：03-3818-2619 Fax：03-3818-7354
- 5.投票票 今年度は定時社員総会が書面表決の為、選挙管理委員会による投票票は翌日の11月10日（火）となります。
- 6.選挙結果について 選挙の結果に付きましては選挙管理委員会より電話又はFax、メールで立候補者各自にお知らせ致します。

（令和2年度 日本指圧協会 選挙管理委員会）

（委員長）齋藤良知 神奈川支部 （副委員長）青藤幹雄 練馬支部
（委員）鶴見せつ子 足立支部 田中功 八南支部 角田光三郎 豊島支部

第58回 指圧治療夏期大学と称号授与の件

予定しておりました、本年の第58回指圧治療夏期大学は中止となりましたが、同時に開催されます称号授与は式典としては開催出来ませんが、理事長が受賞者に個別に連絡をとり、極力直接、賞状及び盾、バッヂを贈呈する予定です。

(令和2年度 受賞者)

指圧道 範士	44期	渡辺 仁通
家庭実技操士 5級	賛助	妹尾 美子
家庭実技操士 5級	賛助	渡邊 久美子

慰霊供養合祀祭と偲ぶ会 中止

9月6日(日)、小石川伝通院で開催を予定しておりましたが、中止となりました。ご参加をご検討頂いていた皆様にはご迷惑をお掛けする事となり、申し訳ございません。

今年度ご逝去されました先生方のご尊名は伝通院指塚にありますご尊名板に刻印しております。

ご 尊 名	期	ご逝去年月日	享年	支部
故 馬場 光子 殿	賛助	平成30年6月24日	91歳	八南支部
故 牧野 悦子 殿	賛助	令和2年2月29日	81歳	千葉南支部
故 千野 京子 殿	24期	令和2年4月12日	91歳	千葉北支部
故 糸賀 ミヨ子 殿	12期	令和2年6月3日	97歳	大田支部

令和3年 新年初顔合わせ祝賀会中止の件

令和3年1月10日に開催を予定しておりましたが、新年初顔合わせ祝賀会は中止と致します。

ご寄附のお願い

会員の皆様におかれましては、平素より日本指圧協会の活度に多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年度は多くの会員の皆様から総額 865,544円（83件）もの貴重なご寄附を頂戴し、協会活動、協会運営全般に活用させて頂き指圧協会を代表致しまして衷心より厚く御礼申し上げます。

今年も引き続き会員の皆様のご厚情を賜りたく、大変恐縮ではございますが、今年度もご寄附頂ければ幸いです。

ご寄附に際しては、同封の振込用紙にてお願い致します。

会員手帳

皆様には長い間お待たせ致しました。日本指圧協会の会員手帳が出来上がりましたので、お知らせ致します。お手元にない方は、恐れ入りますが協会事務所迄『縦 3cm×横 2.5cm』の写真（上半身、裏に名前）を書いてご郵送下さい。写真を添付した後、必要事項をご返信致します。

協会事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷4-5-10

ライオンズマンション本郷303号室

電話：03-3818-2619 Fax：03-3818-7354

会員名簿

令和1年度 日本指圧協会会員名簿の発刊について
お知らせ致します。

名簿作成に付きましては個人情報保護法によりその取扱いを含め、慎重に検討し決定致しました。依って限定50部のみ作成と致しました。

購入ご希望の方は協会事務所迄ご連絡お願い致します。

1部 3,000円となります。

名簿委員会委員長 小玉誠

各支部 研究会

神奈川県支部

神奈川県支部では今年の8月2日よりオンライン研究会を実施しています。以下、当日、オンライン研究会の司会を務められた齋藤良知先生の感想を支部機関誌「指の糸」より抜粋してご紹介致します。

慣れぬオンライン研究会の為に、司会をやりながら、パソコン画面の切り替えをしたり、皆様の意見をメモしたりで、正確な記録が取れていませんので、私の印象に残ったものを箇条書きにしてみます。

- ・免疫力については、その仕組みが非常に複雑で、研究者もよくわかっていないようです。1つ言えることは、免疫作用は化学反応なので温度が高ければ反応が活発になる事はあるようです。

- ・コロナウイルスに結合してウイルスの働きを鈍くする物質が一番多く含まれている食品は緑茶で、他のものに比べてダントツに多いようです。

- ・麻黄湯がコロナに効果があるという記事を週刊誌で読んだので、咳がひどい症状の患者さんの指圧をした後などはすぐに飲むようにしています。

- ・コロナは呼吸器系の疾患なので、呼吸器系を丈夫にするために「鼻塩水」というのをやっています。これは塩水を鼻から吸って口から出す方法で、これによって鼻腔などの粘膜を鍛えるというものです。

- ・施術所の換気は1時間おきにやっています。

- ・免疫力アップより予防の方に力を入れて、イスやカーテンの消毒、こまめに衣類を交換、洗濯しています。

- ・仕事の合間の細切れの時間で、様々な鍛錬をしています。お陰で90キロあった体重が81キロになりました。

以上のように様々な意見がありましたが、一堂に会して(?)顔を見ながら話が出来るとい点では1つの進歩でした。 (14名 参加)

神奈川県支部今後の行事予定

10月28日(水) オンライン研究会 20:00~21:00

11月29日(日) 相互指圧 14:00~16:00 高津市民館

武蔵溝ノ口

(研修会詳細等に関しては神奈川県支部支部長 齋藤良知先生宛ご連絡お願い致します。 齋藤: 090-5549-8146)

☆ 皆様におたずねしま~す。 ☆

連日、コロナ感染者の人数を見ていると、とても直ぐに治まる様には思えませんが、一方では最近、コロナ後を展望する向きもあります。

いずれにしても、この度のコロナは私達の生活を見直すには又と無い機会のようなようです。今や、「新しい生活様式」、「働き方改革」或いは、ZOOM、オンライン等、あらゆる所で目にする様になりました。又、実際に子供の喘息による移住、生活そのものを変える為の、田舎への移住も身近で聞く様になって来ました。

さて、指圧協会でも時代の流れに乗り遅れない様にと踏ん振っておりますが、ここは皆様のご意見をお伺いしたいと思います。研修会等の活性化、地方在住の会員の皆様にも協会活動がより、魅力ある物になる様又、協会本部と地方の距離を縮めて情報の共有化を図りたいと考えています。是非とも、皆様のご意見、お考えをお聞かせ下さい。

理事長 上野末次

協会事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷4-5-10

ライオンズマンション本郷303号室

電話：03-3918-2916 Fax：03-3818-7354

メールアドレス： t-mamiya@nshiatsu.org